

# アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和4年5月27日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

## 1 調査結果の概要

- ・栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、漁場によってばらつきがあるものの、全地区で健康の目安となる3.0%を上回っており(平均値：7.6%)、良好な状態であった。
- ・貝殻異常については、一部の貝に、昨年中の感染で回復時に形成されたと考えられる段がみられたが、新たな貝肉の萎縮や真珠層の褐変は確認されなかった。
- ・貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合を示すa値の平均値は低かった。
- ・低めに推移していた水温は平年並みになり、例年病状が現れ始める水温となったので、貝の観察及び管理に御注意願います。

## 2 調査結果一覧

( ) 内は昨年同月の値

漁場 <sup>*1</sup>	貝の種類 (R3産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 <sup>*2</sup>	4.4(7.0)	0.0(-1.0)	0	0%
中部①	日中交雑貝	9.3(3.3)	-0.3(-0.5)	0	0%
中部②	日中交雑貝	9.0(3.0)	-0.8(-1.2)	0	0%
南部	日本貝	8.3(3.0)	-1.0(-0.7)	0	0%
南部	日中交雑貝	6.8(2.5)	-0.2(-0.2)	0	0%
平均値		7.6(3.8)	-0.5(-0.7)		

\*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

\*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

## 3 調査方法

- ・4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- ・サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめぐりに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

## 4 調査項目および判断指標

- ・グリコーゲン含量(%):アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- ・a値:閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。  
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。